四国新聞 11月30日(木)

新聞　第3種郵便物認可

岩崎さん（宇多津1年）国税庁長官賞

全国中学生「税の作文」

税への関心を高め、正しい知識を持ってもらうため、国税庁などが中学生を対象に募集した「税についての作文」で、宇多津中1年の岩崎由希子さん(13)が国税庁長官賞を受賞した。岩崎さんは「自分が税について疑問を持ち、学んだことをまとめた。受賞の知らせには驚いたが、本当にうれしい」と笑顔で話した。

税についての作文は同庁と全国納税貯蓄組合連合会の共催で、中学生が身近で感じた税に関することや学校などで学んだことなどを題材に毎年募集している。57回目となる今回は全国6457校から44万5945編の応募があり、192編の全国入賞作を選んだ。国税庁長官賞は、内閣総理大臣賞や財務大臣賞など四つの大臣賞に次ぐ賞で、46編が選出された。

岩崎さんの作品「税の大切さ」は、自身が税金の使い方に興味を持ち、町役場を訪ねて担当職員に取材したところ、地域の施設管理や住民の安心な暮らしのためだけでなく、学校で所属する吹奏楽部の楽器購入費などにまで充てられていることを知り、とても身近なものだと実感したことをつづった。「公共の物を無駄に使わず大切にし、大人になったらしっかりと税金を納めたい」と締めくくっている。

町職員に取材、身近さ実感

17日に宇多津町の同校で表彰状の贈呈式があり、高松国税局の梶原英明徴収部長が岩崎さんに賞状と記念品を手渡した。岩崎さんは「税は大人が支払うもので関係ないと思っていたが、学校生活など私たちのためにも使われていることが分かった。ただ使うだけでなく、将来は私も納税の義務をしっかり果たしたい」と話した。

県関係ではこのほか、丸亀西中3年の三好日和さんが全国納税貯蓄組合連合会優秀賞に輝いた。

税庁長官賞に輝き、笑顔を見せる岩崎さん＝宇多津町、宇多津中

高松市 対話型AI導入

ットツール「LoGoチャット」とチャットGPTを連携させたもので、LoGoチャット内で生成AIの

ア出し、国や他の自治体からの質問に対する回答案の作成などを想定している。

一方、生成AIは情報漏

歌舞伎舞台の遺構 高原城跡から発見

直島町教委が発掘調査

直島町教委は、同町東部に位置し、戦国末期に築かれたとされる高原城跡で発掘調査を行った＝写真＝。城があった時代に使われたと推測される土師器や陶磁器などの遺物のほか、城跡にかつてあった歌舞伎舞台の跡とみられる遺構が見つかった。

町などによると、同城跡は、羽柴秀吉が備中高松城を攻めた際に水軍として海上警護を担当した高原氏が1582(天正10)年以降、直島、男木島、女木島の領主となって築いた居城。改易後に荒廃した城跡は1781年の大火で焼失したといわれており、19世紀初頭には歌舞伎舞台が作られ、戦前まで盛んに上演されていたという。

同城跡の発掘調査は1984年以来で、今回は10月3日から延べ9日間実施。城跡の一角約40平方㍍を掘削し、土壁の破片や柱の穴と思われる跡を確認したほか、室町時代から江戸時代にかけてのものとみられる土師器や陶磁器、瓦などが出土した。

町教委は、県の協力などを得て発掘成果を整理し、来年度中に調査結果をまとめる方針。

寄付・寄贈

観音寺小に10万円

日協堂医療器

医療機器販売・レンタルなどの日協堂医療器（観音寺市、喜井規光社長）が、同市観音寺町の観音寺小学校（新田秀樹校長）に10万円を。

持続可能な社会の実現に向けた地域貢献活動として2022年度から10年間、寄付を続けるとして